

6+cafe ～多世代交流の場として地域に根ざす～（鎌倉市今泉台）

2024年4月11日、晴れ渡る空の下、鎌倉市今泉台6丁目に新たなカフェ「6+cafe」がオープンしました。このカフェのオープンは、地域住民にとってとても意味深いものでした。かつて地域約2,000世帯の高齢化を社会課題として捉え、居場所や配食事業を展開し、地元で多くの人々に愛された「6丁目クラブ」が閉業を迎える中、その活動を引き継ぎ、そして新しい取組みを「+（プラス）」する思いで新しい居場所が誕生したのです。

「6+cafe」のコンセプトは「多世代の交流」。高齢化が進み、人々とのつながりが希薄になりがちな現代において、今泉台で、誰もが居心地よく過ごせる場所を提供しようとしています。カフェではコーヒーと空間の提供により地域住民の憩いの場を提供するとともに、様々なイベントを企画し、地域の人々が集まり、交流する場としての役割を果たしています。

このカフェは、元々民家だった建物を改装して作られました。大家さんのご厚意により、地域の居場所として利用できるようになったのです。改装の際には、自治会など、多くの地域の方々からの協力と激励を受け、地元で根差した温かい空間が作り上げられました。

****地域をつなぐ場所としての「6+cafe」****

「6+cafe」に足を踏み入れると、どこか懐かしい空気に包まれます。まるでおばあちゃんの家に戻ってきたかのような、温かみのある部屋が迎えてくれます。明るく開放的な空間には、少人数でのサークル活動にもぴったりの広さがあり、居場所として様々な企画が考えられる間取りが魅力です。



また、外にはぬれ縁があり、季節の移ろいを感じながらのんびりとくつろげる時間が流れています。インテリアには、おしゃれなターンテーブルやレコードなどが並び、昭和レトロな雰囲気も漂います。このような空間が、世代を超えた交流を自然に生み出しています。

「6+cafe」の開所により、地域の高齢者だけでなく、子どもや親御たちも利用しています。取組みをスタートしたばかりですが、多世代、そして多様な趣向を持つ人々が共に過ごすことができる居場所となっています。例えばご高齢の方を含めて地域の大人たちが語り合うところで子どもたちが遊んだり、地域の大人が子どもたちにそろばんを教えたりと、自然と互いが視界に入り、また世代を超えた交流が生まれています。また落語やレコード鑑賞など、文化を通じてこれまでつながりのなかった人たちとのつながりを作っています。誰もが参加でき、多様な世代がほどよい距離感で緩やかにつながれる「6+cafe」には、学校や学童保育のような空間が苦手な子たちもいられるような場所にもなっています。

「6+cafe」の開所・運営には、これまで地域を支えてきた人たちと、これから地域を支えていく人たちとの「襻」の継承が行われています。

「6丁目クラブ」の立上げの頃から、地域でのつながりをつくり、また地域の子どもたちを見守り、支えてきた世代が、これまでの経験を活かして、そして、今の時代の新しい価値観に刺激を受けながら、「6+cafe」として地域の居場所をつくろうと想いをもつこれからの世代をサポートしています。そうした人と人とのつながりが、地域のつながりを育み、人々が笑顔を交わす大切な居場所をもたらしています。これからも多世代の交流を促進する場として、さまざまなイベントのアイデアがあるそうです。鎌倉市今泉台に新たな風を吹き込む「6+cafe」、これからのさらなる取組みが楽しみです。



世代を超えた交流



落語の講演会